

## 大曲支援学校せんぼく校児童との里山交流活動

令和3年10月29日、3者（秋田森林管理署・仙北市・角館まちづくり地域運営体）協定を締結している仙北市角館「外ノ山国有林・遊々の森」において、大曲支援学校せんぼく校児童8名を対象として、里山交流活動（森林環境教育）が実施されました。

当日は、署長をはじめ4名が参加し、実施内容としては、生徒たちが以前、ほだ木に植菌したキノコの収穫や、紅葉した色とりどりの葉っぱを拾うなど、「里山遊びの実体験を通し、心身の開放感や楽しさを味わう」等の支援学校の学習目的を踏まえ、森林散策を楽しみました。

その後、広場に集まり、署長が歌と踊りを交え「どんぐりころちゃん」の紙芝居を読み、クイズを出すなど、子供たちはもとより、サポート役の大人にも大好評で、楽しい一日となりました。

後日、大曲支援学校せんぼく校から里山交流活動のお礼として、当日の様子をまとめたパネルをいただき、署長室に飾っています。当日の楽しい様子が伝わってくる力作となっています。



支援学校せんぼく校の生徒とご対面



キノコ収穫の様子



署長による紙芝居&クイズ！



児童からいただいたパネル